

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
病態生理学	1	前期	2	講義 30時間
担当教員	岡本明美、橋本裕二、金子教宏、仲地健一郎、白鳥俊康、榊澤政広、竹内正美、小原まみ子、安藤哲朗、細川直登、六反田諒、大山優、関根龍一			
授業概要	主に内科的な疾患を系統的に当該領域の専門医師から学習する。主要な疾患の症状や病態生理、治療目的・手段を理解することで、様々な疾患の病態やその評価に基づく臨床看護判断力、適切な治療介入を選択する能力を養う。			
到達目標	高度な看護実践をおこなうためには対象者の複雑な健康状態、予後を正確に把握する必要があり、このために必要な比較的頻度の高い内科的疾患、病態に焦点を当て、症状や病態生理を当該疾患の専門医から系統的に学ぶ。さらに医学的のみならず社会的・倫理的に求められる治療目的や治療方法を学習し、臨床上の高い理解力と判断力を身につける。			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	看護に活かす解剖生理と病態の知識	岡本	
	2	呼吸器系疾患の病態生理と診断・治療	金子	
	3	循環器系疾患の病態生理と診断・治療 心不全、不整脈、冠動脈疾患、高血圧	橋本	
	4	消化器系疾患の病態生理と診断・治療 消化管	仲地	
	5	消化器系疾患の病態生理と診断・治療 肝・胆・膵臓	白鳥	
	6	代謝内分泌疾患の病態生理と診断・治療	榊澤	
	7	血液・造血器疾患の病態生理と診断・治療	竹内	
	8	腎尿路系疾患の病態生理と診断・治療	小原	
	9	神経系疾患の病態生理と診断・治療	安藤	
	10	感染症、寄生虫疾患の病態生理と診断・治療	細川	
	11	リウマチ性疾患、アレルギー疾患、免疫不全の病態生理と診断・治療	六反田	
	12	悪性新生物の病態生理と診断・治療	大山	
	13	緩和医療	関根	
	14	看護の視点からみた事例検討①	岡本	
	15	看護の視点からみた事例検討②	岡本	
教科書	特になし			
参考書	Bickley, LS(著)、福井次矢、井部俊子、山内豊明(監訳)(2015):ベイツ診療法(第2版)、メディカル・サイエンス・インターナショナル 福井次矢(監修)(2017):ハリソン内科学第5版、メディカル・サイエンス・インターナショナル 矢崎義男他(編集)(2019):内科学第11版、朝倉書店			
評価方法・基準	事例検討用に作成した資料と事例検討時のディスカッションへの参加状況により総合的に判定する。			
事前・事後学習	各講師が事前に提示する資料を予習する。学んだ知識を事例検討に反映させるとともに、文献検討を加える。			
備考	特になし			